さらべつ

こうほう

PUBLIC RELATIONS

sarabetsu

7

2003

NO.490

執行方針

6月17日に開会された平成15年第2回議会定例会において、安村豊治村長が村政執行方針を、高橋久夫教育委員長が教育行政執行方針を述べました。
今年度の村づくりの考え方を要約してお知らせします。

村政執行方針

本村の基幹産業農業については、昨年厳しい気象条件に遭いながらも実質100億円という史上最高額の農業粗収入をあげ、農家各位の土づくりに対する努力と営農技術の向上、農業基盤整備の充実と関係機関・団体のご指導によるものと、深く敬意と感謝を申し上げます。

大型建設事業では、福祉の里総合センターが昨年10月に完成。来年10月に国保診療所が完成した際は、本村の保健・医療・福祉の拠点施設となるものです。

また、明年4月開所予定の保育所建設、道路網の整備、農業の一層の振興を推進するため土地基盤整備などを進めます。

市町村合併特例法の適用期限は17年3月。強制合併には断固反対しつつ、地域のあり方や住民生活に大きな影響を及ぼすだけに、将来に禍根を残さない判断をしなければならないと肝に銘じ、この局面に対処します。

自治体の創意工夫で市町村間の住民サービスに差が生じる時代です。住民との協働社会づくりと自立した村政の推進が、時代の要請でもあります。

少子高齢化等に対応する福祉施策、農業振興対策、特にWTO交渉の新たな枠組みによる農産物貿易自由化が平成17年1月に迫るなど、農業を取り巻く課題は山積しております。

各種施策の推進にあたっては、一人一人が支え合う、人にやさしい安らぎのある地域づくりを目指し、「ときめき夢大地さらべつ」の基本目標実現に向け、住民の目線に立った行政の推進が重要です。職員の学習機会を助長、地方分権時代に即応できる創造性豊かな政策形成能力と問題処理能力の醸成に努めます。

財政緊縮であっても、進行中の各種事業は住民ニーズと社会情勢を的確に把握し住民福祉向上のため積極的に推進します。

的確な財政見通しと行政改革に取り組み、村税収納率向上、ゴミや各公共施設等有料化の検討など、皆様のご理解をいただきながら健全な財政運営に努めます。義務的経費節減と費用対効果をもとに予算を執行し、役場組織は急激な変化に対応するため常に見直しを行います。今年度は大課制の組織改編を検討し、職員退職時の不補充など更なるコストの縮減に努めます。

第4期更別村総合計画を基本として、平成15年度における主要な施策の推進について申し上げます。

自然を活かしたむらの基盤をつくる

■道路整備

緑町4条線歩道新設工事、市街地歩道改修工事を継続。勢雄19号道路地方特定道路整備事業、東5号舗装強化工事実施。

■土地利用

自然環境保全や災害を未然に防止するため、取得可能な雑種地等を調査検討、その土地の購入と森林の保全を図る。

■土地情報管理

地籍データのデジタル化で、地籍図の適正管理、航空写真等への対応、事務省力化のため、地籍調査管理事業を推進。

■河川整備

道事業の猿別川河川改修事業が、サッチャルベツ川合流点から下流、幕別町界まで、延長約5キロ施工。

■公園整備

どんぐり公園パークゴルフ場の効率的運営と利用者の拡大、有料化に向けてのコースリニューアルと施設整備。

■平成15年度継続推進

▼更別西3条線、更別2丁目線市街地歩道改修工事▼サッチャルベツ川改修整備促進、親水公園施設造成要望▼道道更別停車場線交通施設等整備促進▼勢雄電信道路緊急地方道路整備事業▼道路管理システム整備事業

快適で安全な生活を送れるむらをつくる

■下水排水施設等整備

更別市街地の特定環境保全公共下水道事業が今年8月供用開始。下水道への接続を促すため、各種助成事業を実施。

■平成15年度継続推進

▼農業集落排水事業管きょ工事及び処理場外構工事▼特定環境保全公共下水道事業管きょ工事▼合併処理浄化槽設置事業▼水洗便所改造等補助事業▼水洗便所改造等資金融資斡旋事業▼合併処理浄化槽設置整備利子助成事業

力強い産業で次代を拓くむらをつくる

有機堆肥の投入や休閑緑肥導入など積極的に行い、フードプランの取り組みなど環境保全型農業生産地域として、自信を持って消費者にアピールできると確信。本村農業の特色を表せるような村の宣言を行い、農業・農村を核とした村づくりを一層推進。

■農業生産基盤整備

国営かんがい排水事業に伴い、道営事業で各農家に給水栓設置のための調査設計を実施。

畑地帯産地形成基盤整備支援事業として、JA堆肥製造施設活用計画に基づく補助事業を引き続き実施。

畜産環境リース事業による整備期限と法の適用が来年11月と

安村豊治　村長

迫っているため、バイオマス利活用フロンティア推進事業として、モデル的に簡易低コストふん尿処理施設2基を設置。

■農業経営体制確立

更別村農業振興計画に基づき、計画的な事業の展開を図る。

農業セミナーを開催し、国内外の農業情報提供と把握、有機農業に取り組む本村農業を積極的にPRする方策を検討。

■林業振興

防風霧・保水等多くの役割を持つ森林は、間伐や植林等計画的な育成管理が必要。昨年の台風による風倒木被害に対し、補助事業で倒木処理を重点に実施。

民有林振興のため、森林整備地域活動支援事業を行う。

■商工業振興

商工業の振興と地域の活性化を目指して実施する各種事業に対し助成を行う。

中小企業近代化資金特別融資、中小企業者事業資金利子等補給の利子補給率を、村内企業活性化のため更に3年間延長。

■消費者対策

相談業務充実と消費者被害の防止を図るため、消費生活相談員の設置を検討。

■平成15年度継続推進

▼道営担い手育成型事業／更別西南地区・東雄地区▼担い手育成基盤整備関連流動化促進事業▼耕畜連携・資源循環総合対策事業▼農業経営基盤強化資金利子助成事業▼21世紀循環資源林整備事業▼流域北の森づくり推進事業▼新規就公益保全林整備事業▼土づくり推進農支援事業▼地力増進対策事業▼商工会運営助成事業

健康でやすらぎに満ちたむらをつくる

国民の健康づくりや疾病予防推進のための健康日本21計画を国が策定。本村も昨年健康日本21更別版（仮称）委員会を設置。今年度中の策定に向け検討。

医療法人社団カレスアライアンスとの医療業務提携をした国保診療所について、今年度から2ヵ年事業で移転改築。保健・医療・福祉の長期的かつ安定的な基盤整備の確立を図る。

医療を核とした地域づくりのため、家庭医の定着について積極支援。

障害者福祉計画を策定し、心身に障害のある方がともに暮らせる優しい村づくりを推進。

■児童福祉

エンゼルプラン、保育計画を基に保育所の建設費を助成。社会福祉法人が直接運営管理する事になり、併設される子育て支援センター、学童保育所は委託を予定。民間活力で事業を推進。

■高齢者社会対策

曙団地シルバーハウジングの団らん室が、利用の高まりから狭あいとなってきたため増築。

■平成15年度継続推進

▼各種健診事業▼各種予防教室・健康相談等の保健推進事業▼通所支援・交通費支援等の障害者支援事業▼どんぐり共同保育所への財政支援▼社会福祉協議会への財政支援

心豊かな人と文化を育むむらをつくる

地域に根ざした学校教育の推進や教え合う生涯学習の取り組みにより、潤いと触れ合いに満ちた人づくりを目指す。

参加と交流を進め、新しい時代を支えるむらをつくる

空港から一番近い村、無限の可能性を持つ地域として、都市と農村の共生をテーマに定住化対策を推進。

更別村は、明治38年に山田嘉一郎翁が開拓の鍬を下ろしたのが始まりで、来年度が開拓100年。この節目を皆様と祝うため、内容等について検討。

■コミュニティ施設整備

社会福祉センターに耐震補強工事を施すとともに、エレベーター及び身障者用トイレを1階に設置、利用者の利便を図る。

■花いっぱい運動推進

花による街づくり、心が潤う景観確保のため、地域安全・コミュニティ村民会議を通して花のプランター無料配布を行う。

■行政体制の強化と健全な財政運営

行財政改革は最重要課題として、各種経費の節減、補助金・助成金見直し、人件費等一部削減をしており、更なる財政健全化のため特別職の人件費を削減。

効率的事務事業執行とコスト縮減のため、課の統合と行政組織グループ化を実施済。更に組織のスリム化と職員数抑制のため、課を統合する大課制検討。

各公共施設の経費節減、施設の有効活用方法と適切な使用料について検討。

地方制度調査会の中間報告が4月に示された市町村合併問題は、議会をはじめ住民のご意見等を十分に参酌し、任意協議会の設置と参加に向け検討。

共下水道事業を継続して推進。上更別市街地の農業集落排水事業供用開始で下水道施設への接続を推進。

■ごみ処理

10月1日からごみ有料化を実施。行政区懇談会等を通じ行政コストと住民負担について説明申し上げたところで、今後も説明会の開催や広報等によりPR。

■交通安全・防犯対策

本村の交通事故死ゼロは13000日を達成、記録を更新中。交通事故防止と犯罪防止は、住民総意の取り組みが必要。

今年4月に地域安全・コミュニティ村民会議を立ち上げ。皆さんの意見を反映させるため、全行政区に暮らし改善推進員を設置。

■住環境整備

昨年度、賃貸住宅建設促進事業で、民間活力による住宅が更別市街地に2棟18戸建設。行政コスト縮減と起業促進のため、条例の内容について検討し、引き続き事業を推進。

教育行政執行方針

村民が生涯心豊かにいきいきと学び続けられる環境づくりが最大の課題と考え、今年度も心の教育を基本に取り組みます。

教育の目的は、知・徳・体の調和のとれた人間形成を図る人づくりです。夢と希望の持てる教育の充実と、生きがいやゆとりを持って生活ができる生涯学習社会の実現に努めます。

学校教育の充実

公教育としての学校の基本的な役割を維持し、子どもが人間としての基礎・基本、豊かな心を培い、特色ある学校づくりと教育を進める事が重要です。

■教育内容・方法

学校週5日制のもと、自ら学び、考え、問題を解決する「生きる力」を育成し、自然に触れる体験学習、交流を通じ学ぶ楽しさ、充実感が味わえる創意工夫をした学校づくりを推進。

学校運営地域協力者会議を充実し、開かれた学校として、保護者や地域の意向が学校経営に反映されるよう定着に努める。

いじめや不登校、暴力行為などへの対策は各学校が一丸となって取り組み、心の教室相談員配置、相談体制整備を継続。

学校教育用コンピュータでの実践による、情報教育の充実。

■教職員の研修活動推進

教職員には、広い社会的立場に立った豊かな教養と高い実践力などを持ち合わせた人材が求められており、実践的な課題設定、組織的・計画的な校内研修を推進。村教育研究所での研修活動をはじめ、十勝・道各教育センター等での研修や研究会への参加で教育力の向上を図る。

幼稚園教諭の研修は、他保育所などへの派遣による実践的研修を継続して実施。

■たくましさと心豊かさを備えた幼児教育の推進

幼児期における教育は、豊かな心情や感性を身に付ける上で大切。小学校教育へ円滑に移行できるよう保育内容を充実。

子育て相談会は各方面から評価をいただいており、今年度は村単独事業として実施。

更別幼稚園の移転改築計画に基づき、より良い園舎の建設に向けて検討。

高橋久夫　教育委員長

■魅力ある学校給食の推進

学校給食は、心身の健達を促す望ましい食生慣の基本を体験する場。ランスや食べ残しに配立の工夫、調理員の及、衛生管理の徹

■更別農業高等学校の

充実に対する支援

更別農業高校では、ブ全国大会の実績をは業を支える担い手を育に有為な人材を多数輩産業を支える人材育成育充実に対する要望っており、学科改編設の早期整備・改活動を含め、積極的

■学校教育関連施設等

▼更別中央中学校
＊暖房設備制御盤改
＊階段手すり設置工
＊テニスコート支柱
▼更別小学校
＊高圧ケーブル取替
▼上更別小学校
＊体育館暖房機取替
＊下水道接続工事
▼上更別幼稚園
＊屋根補修工事
＊下水道接続工事

生涯学習・社会教育の推進

本村は生涯学習の観点に立ち、住民の自主的な活動を主体とした社会教育を推進。しかし、社会の変化により人生各期に必要とされる様々な事を自ら学び、活かしていく生涯学習社会の定着が求められており、社会の要請に対応すべく事業に取り組む。

■生涯各期における社会教育行政の充実と学習支援環境整備

少年教育は、子どもたちが主体性を持って問題に立ち向かい解決していく、自主自立の力を育てる教育の転換点にあり、家庭・学校・地域社会の連携・協力が不可欠。教育実践の情報を提供し、家庭教育学級でも学習を深めるよう努め、総合的学習の時間などで学校が求める地域教育資源の発掘・提供を図る。

成人教育は、活力ある村づくりのために引き続き青年・女性団体の活動支援を行い、高齢者のための末広学級を開設して集団での学習を支援。

個々の自主的な学習活動を支援するため、各種研修会や開放講座など学習相談機能を高める。

道費補助事業で実施のＩＴ講習事業は、講習方式を整理し村単独事業として開催。

図書室整備を実施し学習施設の充実を図ったところであり、今後各種施設の更なる有効利用策を検討。

■文化・スポーツ活動の振興

各種文化サークル活動や郷土芸能活動が活発に行われており、活動の支援、器具類などの整備等、今後も村民の潤いある生活を確保するため支援を継続。

総合誌の発刊、総合文化祭・文化イベント開催支援、活動発表の場の確保、ときめき夢民塾での講座開設で新たなサークル活動誕生を促すなど、文化活動を育成助長。

スポーツ協会活動も活発。各種大会で多くの実績を残し、村内大会も積極的に行われ、住民のスポーツ活動に貢献。少年団活動も、親・学校・地域の理解のもと熱心に行われ、子どもたちの心身の発達に寄与。今後も競技スポーツを振興し、水泳教室やエアロビクスなど身体機能の向上を図った講座などを開催、住民の健康維持増進を図る。

運動広場やスポーツ施設の利用しやすい形での開設を行い、活動を支援。

■社会教育・社会体育関連施設等整備計画

▼改善センター花壇補修工事
▼更別・上更別運動広場トイレ下水道接続工事▼農村公園噴水排水管改修工事▼コミュニティプール洗浄装置改修工事

農業者の代表行政機関

農業委員会

農業委員に松橋昌和氏が就任しました

更別村農業協同組合推薦委員として1期3年間務められた若園榮一氏(東栄区)の後任として、5月21日に松橋昌和氏(香川区)が就任しました。

若園前委員の後を引き継ぎ更生区を担当致しますので、よろしくお願いします。

農業委員道外視察研修報告

6月3日から6日までの日程で、農業委員14名が南紀方面を視察しました。

伊賀の里モクモク手づくりファーム　【三重県阿山町】

平成7年オープンの農事組合法人。自社商品の販路拡大を目的として滞在・周遊空間を整備し、楽しみながら農業体験を提供するファクトリーファーム。

パン、ウインナー、ハム、ソーセージ、地ビール等を生産し、観光農場ではなく自己生産物の付加価値を高めて販売。

飯南町和牛肥育生産組合　【三重県飯南町】

飯南町は林業の町で、農地は全面積の5・7％（437ha）。

松坂牛の原産地として知られる他お茶の産地でもあり、深蒸し煎茶は同町の特産品。

和牛肥育生産組合では、生後8ヵ月位の但馬牛を導入し千日肥育。少頭数での肥育管理技術と、名血統牛を育てる本場の松坂牛生産を見学。

◇久保巳吉組合長（組合員数15名、肥育頭数89頭）

梅漬込工場「梅屋」　【和歌山県田辺市】

大正15年創立。梅干しづくり一筋でブランド化されているところであり、全国に支店・営業所を持ち幅広いバリエーションの製品づくりを展開。

工場内では厳重な品質管理がされており、高品質・低価格実現のために努力。

有田市農業委員会　【和歌山県有田市】

有田市は年間平均気温16℃、降水量1200㎜。自然豊かで温暖な気候がみかん栽培に適しているところです。

有田市の基幹産業である温洲みかんの栽培面積は1150haで耕地面積全体の85％を占め、生産量は3万㌧。

みかん農業振興の取り組みについては、銘柄産地の確立、傾斜地等における省力化、集出荷・販売体制の確立等であり、今後は優良系統への更新、多目的スプリンクラー施設の整備による省力化を図り、国際的な感覚を持つ人材養成に力を入れていきたいとの事。

また、農業委員会の主な活動では、若手農業者の支援事業として農業簿記講座、認定農業者の支援策として農業経営管理能力向上支援事業を実施。

研修全体を通して、農業は都市型(有田市)・施設利用型(飯南町)と土地利用型に分かれると思われますが、更別村は土地利用型農業です。

地域の特性を生かしながら適地適作に向けて努力をし、また農畜産物に対しても付加価値を付けていく必要があり、これに対して農業委員会が担う役割は大きなものがあると思われます。

献血のお知らせ

平成15年度 第2回目の献血を実施します。

☆実 施 日　8月4日(月)
☆実施場所　役場庁舎前
☆実施時間　午後1時30分～午後4時

皆様の善意が尊い命を救います。ご協力をお願いします。

●問い合せ　役場住民課 住民生活担当
☎52－2111（内線114）

シリーズ ごみ

10月から有料化 家庭系ごみの処理（1）

技術の進歩は目覚ましく、様々な原料から様々な品物が生み出されるに至った現代社会。高度経済成長期以降私たちの生活水準は飛躍的に向上し、更に近年インターネットの普及に伴い、自宅にいながらにして幅広い情報や豊富な商品を手に入れられる時代となりました。

反面、暮らしが豊かになるにつれ、排出されるごみの量も年々増加の一途を。更別村がくりりんセンターへごみを本格的に搬入し始めた平成9年度には総量で484　でしたが、14年度には690　に。わずか5年で200　以上も排出量が増えています。美しい故郷が、そして地球がごみの山にならないよう、私たちはその減量化・資源化に努めなければなりません。

現在、村リサイクルセンターには皆さんの手により分別された多くの資源ごみが搬入されています。この処理に関わる費用は、リサイクルの精神のもと当面は考えておりません。

再利用ができない一般のごみと大型ごみについては、昨年暮れから行政区等単位で実施してきた説明会でお話ししたとおり、今年10月から有料化となります。排出責任者としての負担、収集・運搬を行う行政の負担で共に助け合い、一人一人が一層の分別と減量化に取り組みましょう。

広報さらべつでは、今月号から3回にわたり、ごみ有料化についての特集を掲載します。

ごみ処理手数料の支払方法

①村が指定する証紙を印刷したごみ袋、または証紙(シール)を購入した時点で手数料を納めた事になります。
②①は村の指定店で購入できます。

ごみ袋・証紙の種類と金額

区　分	種　類	単　位	金　額
燃やせるごみ（赤色字の透明袋）	10　袋	1枚	40円
	20　袋		80円
	30　袋		120円
燃やせないごみ（緑色字の透明袋）	45　袋		160円
大型ごみ			500円

※指定ごみ袋は10枚単位、証紙(シール)は１枚単位の購入となります。

ごみ処理手数料が免除される場合など

①ボランティア清掃で出たごみ
（クリーン作戦等）
②災害等で発生したごみをくりりんセンターへ直接搬入する場合
（搬入前に役場で申請書を受理）
③平成15年10月1日以降に生まれた新生児を養育する保護者
（役場から20　の燃やせるごみ袋を、年間100枚×2年間配布）
④平成15年10月1日以降、更別村に住所を有している生活保護世帯の世帯主
（役場から20　の燃やせるごみ袋を、年間50枚×資格喪失月まで配布）

■燃やせるごみ・燃やせないごみ

袋に証紙が印刷されています

■大型ごみ

証紙(シール)を貼り付けます
※１個につき１枚

（証紙には村章が刷り込まれています）

注　ごみ袋・証紙は見本です

問い合せ　役場住民課 環境衛生担当　☎52－2111（内線113）

昨年8月に始まった、住基ネット第１次サービス

各市区町村の住民基本台帳のネットワーク化を図り、都道府県や指定情報処理機関において、住民票の情報のうち4情報（氏名・生年月日・性別・住所）、住民票コードとこれらの変更情報（「本人確認情報」と言います）を保有することにより、全国共通の本人確認が可能となりました。

行政機関への申請や届出に住民票の写しが不要に

これまで
パスポートの交付を受けるためには、住民票の写しを提出しなければなりませんでした。
また、恩給を受給されている方は、受給権調査申立書に市区町村長の証明を受けなければなりませんでした。

住基ネットによって
行政機関への申請や届出の際に住民票の写しを添付したり、証明を受ける必要がなくなりました。

これによって
住民票の写しの交付手数料の負担や住民票の写しの交付を受けるために市区町村の窓口まで出かけていく必要がなくなりました。

共済年金の現況届等が不要に

これまで
年金を受給されていた方は、年に１回、現況届などと言われる生存確認のための届出をしなければなりませんでした。

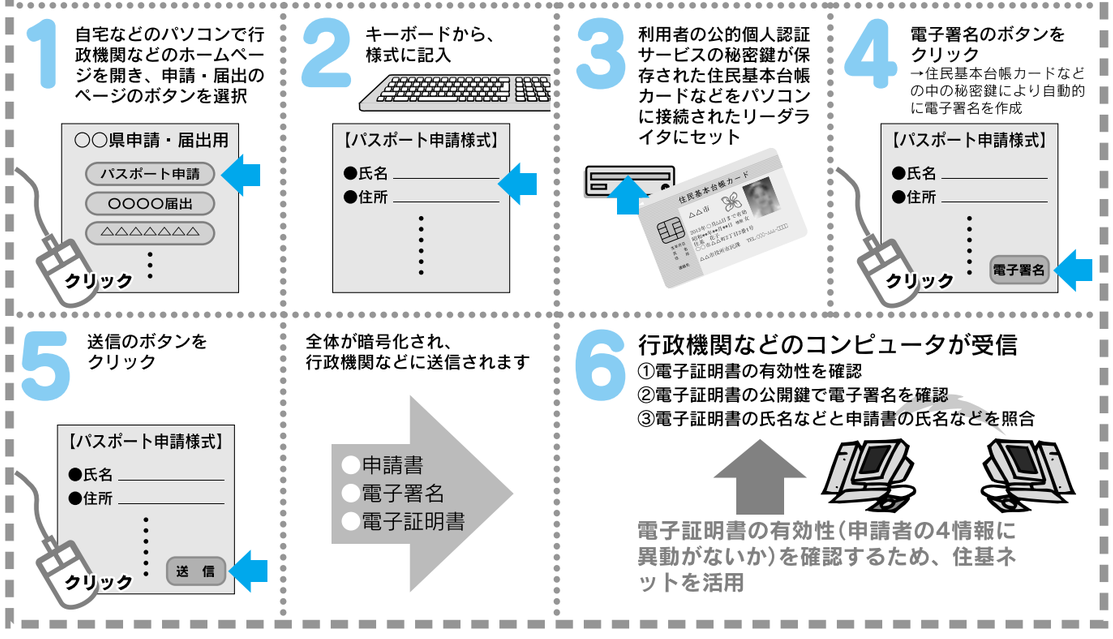
※国民年金・厚生年金については、今までどおり現況届の提出が必要です。

住基ネットによって
共済年金受給者の現況届等を廃止することができるようになりました。

これによって
共済年金受給者が現況届等に記入し、年金支給機関へ郵送する手間や切手代の負担がなくなりました。
また、年金支給機関は現況届等を共済年金受給者に郵送する経費や手間が不要となるほか、年金の過払いを防止することが可能になりました。

電子政府・電子自治体を支える住基ネット

公的個人認証サービスを利用したオンラインによる申請のイメージ（本年度中実施予定）



更農高からこんにちは

平成15年度の現場実習（職場実習）が、村商工会を中心とした多くの受け入れ事業体のお陰で終了しました。
平成7年度から実施している本事業は、インターンシップの導入が各校で進められている中、8日間（業種によっては10日間）もの長期間にわたる実習で管内にも例がなく、本校の大きな特色となっています。
今回は、農家・企業・福祉施設で実習をした生徒の報告です。

農家実習を終えて

農業科3年
村田　耕一

6月4日から13日までの10日間、私たち3年生は職業別に分かれて実習を行いました。私は将来我が家の農業経営に少しでも活かせるよう、農家実習に参加しました。

私がお世話になったのは、平和区で畑作専業経営を営んでいる安村農場で、耕地面積は約80haもあり、牧草地を含めるとかなりの面積になるそうです。

主な栽培作目は、豆類、ビート、ジャガイモなどで、他にもユリ根の畑やアスパラガスの畑など、自分の家では見た事のない畑も見せていただきました。

実習の内容は物置の解体作業、屋根をはがしたり、壁や窓枠の解体などを行いました。期間中は暑い日が続きやや ばてましたが、きちんとできたと思います。

今回の実習で、安村家の皆さんから色々な事を学びました。農業機械の事や工具の使い方、ユリ根のおいしい食べ方(!?)など。それに、作業中私が失敗した時にも「気にしなくていいから」と優しい言葉をかけていただき、自分も落ち込む事なく実習に取り組めました。

実習で学んだ事は、私が農業経営をする時に役立つと思います。この8日間の経験は、ずっと忘れる事はないと思います。

最後に、安村農場の皆さんには8日間大変お世話になりました。今後も農場へ遊びに行きたいと思いますので、その時はよろしくお願いします。

福祉施設実習を終えて

生活科学科3年
加賀瑠美子

私は、更別村老人保健福祉センターで実習をさせていただく事になりました。授業の中でしか福祉の勉強をしていなかったので、施設利用者の方とコミュニケーションをとれるかどうか、とても不安でした。

実習初日はヘルパー訪問で、利用者の方の自宅へ伺い掃除や料理などをしました。掃除などは担当の方の指示どおりこなす事ができても、大切な利用者とのコミュニケーションをとる事が全然できませんでした。なぜコミュニケーションをとる事が大切かというと、安全に配慮した介助をする事もできないし、利用者の方も安心して介助を頼む事ができないと思うからです。

他にも沢山実施しましたが、福祉施設での実習の難しさを改めて実感しました。今後は今回の経験を活かして更に学習を深め、利用者の方のお役に立てる訪問介護員を目指したいと思います。

期間中実習のご指導をいただきました老人保健福祉センターの職員の皆様、本当にありがとうございました。

企業実習を終えて

生活科学科3年
今野瑛里子

私は現場実習で、新泉商事さんのお世話になりました。

実習前はとても不安で、「失敗したらどうしよう」とか「怖い人だったらどうしよう」など色々心配していましたが、新泉商事の皆さんはとても優しく丁寧に教えて下さるので、安心して実習する事ができました。

私が実習で取り組んだ事は沢山ありますが、すべての事が初めてなので「新しい発見」が幾つもありました。慣れない仕事に集中し過ぎてしまったり、忘れ物をしてしまったり、転んでお弁当をだめにしてしまったり、沢山失敗してしまいました。ですが、すべての事が私にとって良い経験となりました。

実際に働いてみて、働くという事はとても大変だと思いました。なぜかというと、私は実習という事もあり、新泉商事の皆さんにはとても親切にしていただきましたが、実際社会に出た時はいつも丁寧に教えてもらえる訳ではないからです。しかし、今回の実習の経験を忘れず、将来働く時には頑張りたいと思います。

最後に、新泉商事の皆さんには実習期間中大変お世話になりました。ありがとうございました。

今年度の実習が無事終了しました事をお礼申し上げますとともに、生徒にとって非常に有意義なこの実習が継続されるよう、今後もご協力をお願い致します。

更農祭開催！

7／18（金） 午後1時～午後4時
●スポーツ大会
【高校グラウンド】

7／19（土） 午後6時～午後8時
●行灯行列、役場前でのパフォーマンス

7／20（日） 午前10時40分～午後1時20分
●一般公開（バザー・ステージ・展示公開）
【高校体育館他】

多数の皆さんのご来場・ご観覧をお待ちしております。

1さいになりましゅ

山本晋太郎（やまもとしんたろう）くん
平成14年7月26日生／曙町

いつも笑顔の「しんちゃん」です。毎日得意のスピードはいはいでお姉ちゃんを追いかけ、仲良く遊んでいます。食事と、いたずらと、お布団が大好き。たくましい男の子になってね。

喜昭・良香

樽見（たるみ）英人（ひでとくん）
平成14年7月17日生／緑町

我家の次男「英人」は、自己主張が強く声も大きい、なかなかのわんぱく者です。お兄ちゃんが大好きで、嫌がられても何のその。笑顔で追いかけ回しています。“いつも笑顔で元気”に育ってね。

清司・真紀

今野（こんの）こころ（ちゃん）
平成14年7月19日生／更別東区

はじめまして、「こころ」でございます。趣味は寝る事遊ぶ事。お食事がちょっと苦手。最近つかまり立ちをして、よく転んで頭にタンコブつくってます。いつもニコニコ元気に育ってネ。

雅裕・こず恵

石村（いしむら）彩葉（いろはちゃん）
平成14年7月23日生／本町

歌が大好きで、お気に入りの曲がかかると歌いながら踊っています。あんよができるようになったので、靴を履いてのお散歩も始めました。このまま元気に育ってね。

和也・由美

堀井（ほりい）花夏（かなちゃん）
平成14年7月23日生／花園町

夏の花のように元気な笑顔が家族みんなを幸せにしてくれる「花夏」。ちょっと泣き虫！抱っこ大好き♡麻由お姉ちゃんと一緒に泣いたり笑ったり、にぎやかな毎日が続きそうです。

昌治・朱美

むらこん24へ参加しませんか

道内にある24の村が一堂に会して行うイベント「北海道むらこん24」。今年は胆振管内の洞爺村で開催されます。

各村の物産市「むらこん市場」、各村の方々と交流する「むらこん親会」の他、洞爺村のお祭りも同時に行われます。

各村の村づくりをヒントに更別村をより良い地域へ変えていきたい方、「むらこん24」に参加しませんか？

★日時・場所　9月20日(土)～21日(日)　洞爺村
★内　容
◇9／20　スポーツ交流会（パークゴルフ、カヌー等）、洞爺村国際彫刻ビエンナーレ2003鑑賞会、むらこん親会
◇9／21　むらこん市場(各村物産市)、むらコンサート
★募集人数　8名
★参加負担金　1人2,000円
★申　込　7月25日(金)までに役場企画振興課（☎52－2111　内線233)へご連絡下さい。応募多数の時は先着順となります。

行政相談所をご利用下さい

高畑昭子さんが行政相談委員として総務大臣から委嘱を受けた事は5月号でお知らせしましたが、以前と同じく毎月第4木曜日に行政相談所を開設しています。ご活用下さい。

高畑さん宅　☎52－2701
行政相談所
毎月第4木曜日
午後2時～午後5時
社会福祉センター応接室
問い合せ　役場企画振興課
☎52－2111（内線232）

小学生陸上／少年野球 揃って全道大会へ！

陸上の第24回全十勝小学生記録会・第21回全道小学生記録会帯広会場が6月14日帯広の森で行われ、更別小学校4年 高野元博くんが、百m走で学年唯一の14秒台を記録し優勝。高野くんは走り幅跳びでも2位に。

また、4×百mリレー4年男子チーム（高野元博くん、川端敬太くん、太田千敬くん、梶浦勇人くん、宿田耕之介くん）、同じく4年女子チーム（中村こよりさん、上田有希さん、漆川衿菜さん、橋本花梨さん、徳尾優里さん）が揃って2位入賞を果たしました。

更に、6月21日・22日の二日間にわたり開催された第32回全道少年野球帯広支部予選（会場／帯広市）で、更別ジャガーズが昨年度の優勝チームを激戦の末破って3位に。

高野くんと4×百mリレー4年男子及び女子チームは、7月20日に網走市で、更別ジャガーズは7月26日～29日に札幌市で開催される全道大会の出場権をそれぞれ獲得しました。

全道の頂点を目指して、頑張れ更別村の子どもたち！

前列左から宿田くん、川端くん、高野くん、梶浦くん、太田くん
後列左から徳尾さん、橋本さん、中村さん、漆川さん、上田さん

3位の橋を手にする梶浦主将とジャガーズの選手たち

自慢の家畜が勢揃い

更別村農業協同組合主催による第37回総合家畜品評会が、6月7日家畜品評会場で開催されました。

大会長である上田農協組合長が「畜産発展の基礎となってきた本大会。この後行われる全道大会・全国大会への出場を果たし、更別の家畜を広く世に知らしめてほしい」と挨拶。

乳牛・種馬・黒毛和種、それぞれ月齢クラスごと全12部に分かれて審査が行われ、手塩にかけて育てられた家畜たちが、高いレベルでその容姿を競い合いました。

各クラスの最高位は次のとおりです。

乳牛未経産の部
レディスマナーインテグリティクレア　（天野雄介さん）

乳牛経産の部
サラノーシルバーラデュック　（更別農業高校）

種馬の部
大和桜　（佐々木義広さん）

黒毛和種の部
ふくみつ　（宗宮輝夫さん）

中学生のお兄さん・お姉さんと遊ぼう

6月6日、更別中央中学校3年生20名が更別幼稚園児と交流を行いました。

家庭科の授業として昨年から開始。3年生の半数が年度前期、残りの半数が後期に同園を訪れ、実際に触れ合う事で子どもとの接し方を学ぶものです。

挨拶を終えた生徒たちは、園児と一緒に陽光降り注ぐ屋外へ。普段、ともに過ごす機会の少ない世代同士ですが、鬼ごっこや砂遊び、ブランコを押してもらったりおんぶしてもらったり。生徒も園児もお互い楽しんでいる様子に微笑ましさを感じるひとときでした。

6/14 上更別幼稚園・上更別小学校 合同運動会

6/8 更別小学校運動会

人権特設相談所を開設します

人が生まれながらに持っている自由と平等の権利「人権」。しかし、暴力やいじめなどによってその権利を奪われ、悩みを抱えている方も中にはいるのでは…。

人権に関わる様々な問題の相談を受け解決のお手伝いをするため、人権擁護委員と法務局職員による「人権特設相談所」を開設します。相談された事は決して他には洩れませんのでご利用下さい。

■日　時
8月7日（木）
午後1時～午後3時

■場　所
改善センター視聴覚室

■相談担当
◇人権擁護委員（石村久男さん、本多俊江さん）
◇釧路地方法務局帯広支局職員

■問い合せ
役場住民課　住民生活担当
☎52－2111（内線114）

～災害時に備えて～

防災無線

村では、災害時の緊急連絡や行政連絡などの通信網として、防災無線システムを運用しています。
設置・使用について、次のとおり皆さんのご協力をお願いします。

乾電池の交換

乾電池が消耗すると、中段のランプが赤く点滅します。そのままの状態で長期間放置しておくと、電池が液漏れし故障の原因に。電池は早めに交換して下さい。
※費用は個人負担です。

点滅したら、電池の交換を

設置は適所に

キッチンの換気扇付近に受信機が設置されていると、熱の影響や調理油の付着が原因で故障する事があります。

※上記２点を含め、管理が良好でなかったために受信機が故障した場合、修理費用をご負担いただく事になります。

二世帯住宅へは１基の貸出

１件の住宅に対し、受信機及びアンテナは１基の貸出となります。
２基分以上の設備を必要とされる場合は、機器取扱業者に問い合せの上、増設スピーカーの接続で対応下さい。
※費用は個人負担です。

農村部で住宅新築の時はアンテナ配線を

役場からおおむね３km以上離れた地域では、アンテナ設置が必要です。住宅建設前に施工業者と打ち合せの上、パイプ設置やアンテナ線の引き込み、住宅内配線などの対応をお願いします。
現在住んでいる住宅にアンテナが設置されている場合は、そのアンテナを移設してご使用下さい。
※費用は個人負担です。
別棟新築など、新たにアンテナが必要な時は、役場に連絡願います。

受信機を新規貸出する場合

◇住宅を新築した時
◇住宅を購入した時
◇民間住宅などを借りた時
※既に貸出を受けている場合を除きます。

受信機の返却が生じる場合

◇更別村から転出する時
◇公営住宅など、受信機設置済の住宅に入居する時
※現在貸出を受けている場合のみ。

受信機設置済の住宅

◇村営住宅（公営住宅、世帯向住宅、単身者向住宅など）
◇ＪＡコーポアメニティ
◇教員住宅
※退居される時は、受信機を設置したまま退居して下さい。

緊急放送は最大音量に

平常時の音量は調節できますが、緊急通報時は自動的に最大音量となります。

定時放送は時間変更できます

現在の定時放送時間は、次のとおりです。

農村部	市街地
6時15分	6時50分
12時30分	12時30分
18時15分	18時15分
19時45分	
時報あり	時報なし

放送時間の変更（農村部→市街地、またはその逆）を希望される場合は、役場へご連絡下さい。

受信機の使用方法

取扱説明書をご覧になるか、役場に問い合せ下さい。

連絡・問い合せ

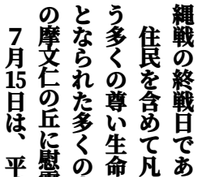
役場総務課 庶務担当
☎ 52－2111（内線202）

村長のコラム

今から58年前の昭和20年6月23日は、太平洋戦争における沖縄戦の終戦日である。
住民を含めて凡そ23万人という多くの尊い生命を失い、犠牲となられた多くの方々が糸満市の摩文仁の丘に慰霊されている。
7月15日は、平成15年度の更別村戦没者追悼式が行われる。55柱の御霊に対する慰霊と悲惨さに想いを新たにして、恒久平和を誓うものである。本村出身の戦没者は１２２名を数えるが、沖縄戦でも多くの方が犠牲となっている。ご遺族の転出で御霊も今では半数以下となり、時空の流れとともに戦争の悲惨さや尊い犠牲を忘れてはならないと改めて思う次第である。

平成3年、ソビエト社会主義共和国連邦体制が崩壊し東西関係の緊張緩和が図られ、国際化社会の進展は恒久平和と経済の更なる発展が期待されたが、それとは裏腹に10年後の平成13年9月11日、米国同時多発テロが発生し、それに続くアフガニスタン攻撃、今年5月1日に終結宣言が出されたイラク戦争、北朝鮮問題など、多くの地域紛争や国際問題を抱えている。
同時に、世界的な経済低迷が続き、中でも日本の景気低迷が著しい。
6月6日、有事法制関連3法案が民主党なども含め、約9割の議員が賛成し可決された。
「同盟国が攻撃された場合は有事の範囲か」「武器行使の時期の問題、つまり防衛の範囲は」「基本的人権の尊重と国民保護法制の整備」「国の命令等から私有財産を使用した場合の損害賠償は」「ミサイル迎撃は自衛権の範囲か」など、憲法との整合性を含め多くの課題はこれからである。
時あたかも、イラク戦後の治安活動後方支援などのために自衛隊をイラクへ派遣する、イラク復興支援特別措置法案が衆議院で審議される事になった。イラク戦争終結宣言後も米国などの兵士がテロにより亡くなっているとの事であり、安全性は充分論議されなければならない。
日本の国際貢献はお金で行う国とのレッテルが貼られ、命懸けで行う国からは信用されないとか、愛国心が希薄になっているとも表現する方もいる。昨今の国内外の情勢に私たちは関心を持つべきだが、これらの法律ができたとしても、適用されなくて済む社会であってほしいと誰しもが思う事でしょう。

矢本エピソード



―わがまちを花いっぱいに―　町内一斉にサルビアを植栽

矢本町では6月になると、町花であるサルビアの植栽が町内一斉に行われます。
今年も、6月22日に矢本町営グラウンド、やもとフラワーストリート（国道45号沿い）、その他町内一斉にサルビアの苗が植えられました。これは「矢本町花の里普及事業」の一環として実施されているもので、早朝にも関わらず地域住民や町内スポーツ少年団の団員、やもとフラワーストリート推進協議会（五野井嘉男会長）や上街道フラワーアベニュー推進協議会（浅野勝則会長）の会員など約2,000人が集合。町内の大塩サルビア生産組合（浅野勉代表）の皆さんが丹精込めて育てた約８万本の苗を、一本一本丁寧に植えました。

この他にも、町内にはサルビアが咲き揃うフラワーロードが各所に設けられており、日にちを変えてサルビアの植栽が行われました。これらの花壇は各分館や公民館など、それぞれの地域で管理を行い、まさに町民総ぐるみの活動となっています。

今回植栽されたサルビアは、７月中旬には通りや公園を赤く彩り、町民の皆さんや本町を訪れる人々の目を楽しませてくれます。

くらしの告知板

お知らせ

7月は社会を明るくする運動強調月間です

「社会を明るくする運動」は、全ての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、力を合わせて犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国運動です。

犯罪や非行が生まれるのは地域社会ですが、罪を犯した人や非行をした少年の更生を果たす場所も、犯罪や非行を未然に防ぐためのチェック機能を果たすのも地域社会です。

皆さんも触れ合いと対話を大切にし、犯罪や非行のない明るい社会を目指していきましょう。

●問い合せ　役場住民課（内線114）

障害者職業能力開発校入校適性相談

北海道障害者職業能力開発校では来年度の入校希望者を対象に、障害の程度や能力に応じた訓練科目が選択できるよう相談を行っています。

●相談期間　平成15年７月１日(火)～平成16年２月25日(水)
午前９時30分～午後３時
※土日・祝日等を除く

●訓練科目
情報ビジネス科、プログラム設計科、プリントメディア科、家具工芸科、CAD機械科、建築設計科、ショップマネジメント科、被服縫製科

●そ の 他
◆相談を希望される方は、事前に電話で申込下さい。
◆交通費等の支給はありません。
◆宿泊を希望される方は、寄宿舎を利用できます（実費負担）。

●相談申込・問い合せ
北海道障害者職業能力開発校
☎（0125）52－2774

サマージャンボ宝くじ発売

１等・前後賞合わせて３億円のサマージャンボ宝くじが発売になります。

１億円以上が210本、当たり実感のある小額賞金も充実しています。

この宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよい街づくりに使われます。

●発売期間
７月14日(月)～８月１日(金)

●抽 選 日　８月18日(月)

●賞　　金
◆１　等　２億円×42本
◆前後賞　各5,000万円
◆２　等　１億円×168本
※以下３等～７等、ラッキーレジャー賞

募集・採用は年齢に関わりなく均等な機会を

平成13年10月に雇用対策法が施行され、「事業主は、募集･採用にあたって年齢制限をしないように努力する義務を負う」事になりました。

年齢制限があるため仕事への応募ができず、仕事に対する資質が判断されないでいます。中高年齢者の多くの方は経験・知識・技能を持っていますので、年齢要件で判断する事なく個々の労働者の適性・能力に着目するなど、応募・採用の機会を増やしましょう。

求人申込の際は、年齢不問のご検討をお願いします。

●問い合せ　北海道労働局職業安定部
職業安定課職業紹介係
☎(011)709－2311(内線3674)

登記相談所を開設します

釧路地方法務局南十勝出張所廃止に伴い、登記相談所を開設します。

相談された事は、決して他には洩れません。また、費用は無料です。

●相談内容
不動産(土地・建物)の売買・贈与・相続、抵当権の設定・抹消、会社・法人の登記　など

●相談担当者
釧路地方法務局帯広支局職員

●開設日時　7月17日(木)
午後0時30分～午後3時30分

●開設場所　大樹町経済センター
大樹町西本通98
☎(01558)6－2126(商工会内)

●問い合せ　釧路地方法務局帯広支局
☎24－5837

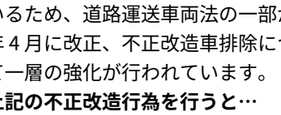
農業用廃プラはリサイクルへ

農業用廃プラスチックは産業廃棄物ですが、リサイクルされると路面材や固形燃料等の再生品に生まれ変わるため、貴重な資源となります。

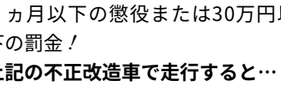
①異物の除去
土砂・木片・金属などの異物を除去。

②農ビ・農ポリに分けて集積
◆農ビ／使用済のビニールハウスフィルム等を結束して集積
◆農ポリ／使用済のトンネル、マルチ、肥料袋、農薬空容器、ラップフィルム等を結束して集積

③梱　包
同じ素材をヒモとして使い、２ヵ所を縛る。
◆農ビ／つづら折り



◆農ポリ／杭利用のグルグル巻き



④再　生
固形燃料、路面材、サンダル、車のバンパーなどに生まれ変わります。

●問い合せ
農協営農資材課　☎52－2346
役場農林課（内線122）

不法改造車を排除しましょう

国土交通省では、暴走行為や環境悪化を助長するような不法改造車を排除する事を目的に「不法改造車を排除する運動」を全国的に展開しています。

マフラー交換による騒音増大、燃料ポンプの封印取外し等によるディーゼル黒煙の悪化、クリアレンズ等不適切な灯火器取付、窓ガラスへの濃い着色フィルム貼付、荷台を不正に改造した大型貨物自動車などの不正改造車は、道路交通の秩序を乱すとともに排気ガスによる大気汚染、騒音などの環境問題を引き起こす原因となっています。

また、国の検査後保安基準に不適合となる改造を行うなどの自動車が増えているため、道路運送車両法の一部が今年４月に改正、不正改造車排除について一層の強化が行われています。

●上記の不正改造行為を行うと…
６ヵ月以下の懲役または30万円以下の罰金！

●上記の不正改造車で走行すると…
車両に不正改造ステッカーを貼付、整備命令を発令し、従わない場合は車検証とナンバープレートを没収！

皆さんも不正改造防止についての理解と排除にご協力下さい。

●情報・相談・問い合せ
北海道運輸局帯広運輸支局整備課
迷惑改造車相談窓口　☎33－3281

7月は不正軽油防止強化月間

軽油引取税は道路や橋の整備に使われる道税です。軽油以外の油種を自動車の燃料として販売・消費した時などにも課税されますが、その引取税を納税しないケースが増えています。

十勝支庁では７月を不正軽油防止強化月間とし、車両からの抜取調査を実施して不正軽油の流通防止を図ります。軽油を燃料とする車両を所有している皆さんのご協力をお願いします。

●情報・問い合せ
不正軽油ストップ110番
フリーダイヤル080－0800－2110
十勝支庁税務部課税課間税係
☎27－8510

新規高卒者の早期求人申込を

来年３月卒業の高校生は十勝管内に約3,800人。その内900名以上が就職を希望しています。

新規高卒者の求人受付は６月20日から始まっており、採用・選考は９月16日からとなっています。

高卒者の就職環境は引き続き厳しい状況が予想されますので、早期求人申込をお願いします。

●問い合せ　ハローワーク帯広
職業相談第２部門　☎23－8296

募　集

入国警備官募集

●受験資格　昭和55年４月２日～昭和61年４月１日生

●受付期間
７月22日(火)～８月５日(火)

●試 験 日
１次試験　９月28日(日)
２次試験　10月22日(水)･23日(木)
(どちらか指定する１日)

●試験会場　札幌市他(国内10会場)

●採用予定　平成16年４月以降

●問い合せ　人事院北海道事務局
☎（011）241－1248

くりりん環境ひろば

お友だちと一緒に地球環境の事やリサイクルの事を考えてみませんか。

●日時　７月29日(火)～30日(水)
午前９時30分～午後４時30分

●内容　講演会、交流会、工作教室、施設見学、討論会

●対象　小学５・６年生で２日間参加できる方

●費用　1,000円(昼食代・保険料込)

●持物　筆記用具、昼食用のはし

●申込　７月22日(火)までに電話でくりりんセンターへ
※７月20日・21日を除く

●会場・問い合せ　くりりんセンター
帯広市西24条北４丁目１－５
☎37－3550

親子リサイクル工作教室

幼児・小学生と保護者の方に身近な廃品利用による工作で、リサイクルとゴミの減量について理解を深めていただく事を目的に開催します。

●日　時　８月６日(水)～９日(土)
午前10時～午後４時

●内　容
風船自動車、ブーメラン、紙ロケット、イルカの吹き玉の内、希望のものを製作(複数可)

●対　象
更別村(くりりんセンター利用市町村)に在住する４歳以上の幼児・小学生とその保護者

●その他　参加費･持ち物は不要です。

●会場・問い合せ　くりりんセンター
帯広市西24条北４丁目１－５
☎37－3550

警察官募集

●受験資格
◆Ａ区分（大学卒業･卒業見込の方）
昭和48年4月2日～昭和57年4月1日生
◆Ｂ区分（Ａ区分以外の方）
昭和48年4月2日～昭和61年4月1日生

●受付期間
7月18日(金)～8月22日(金)

●試 験 日　1次試験　9月21日(日)
2次試験　11月上旬

●試験会場　帯広市他(全道20会場)

●採用予定　平成16年4月以降

●問い合せ　帯広警察署☎25－0110
更別駐在所☎52－3232

自衛官募集

募集種目	募集資格	受付期間	試 験 日	入隊予定
航空学生	高卒（見込含）21歳未満	8月4日～9月10日	1次 9月23日 2次 10月18日～23日	16年3･4月
一般曹候補学生	18歳以上24歳未満		1次 9月20日 2次 10月11日	
曹候補士	18歳以上27歳未満		男子 9月27日～29日(いずれか1日)	
2等陸・海・空士			女子 9月26日	
2等陸・海・空士	18歳以上27歳未満	7月1日～8月18日	8月24日	15年10月中旬～下旬

●問い合せ　自衛隊帯広募集案内所
☎23－8718
http://www.obihiro.plo.jda.go.jp

ふるさと探訪ツアー

雄大な自然と豊かな田園風景の中で十勝の魅力を再発見するツアーです。

●日時　８月９日(土)午前８時45分～10日(日)午後４時30分

●集合　帯広市役所

●内容　北十勝管内での体験ツアー
(オフロード･熱気球試乗、ケーキ・リースづくり他)

●対象　十勝管内在住の親子
(子どもは小中学生)

●参加料　大　　人5,000円
小中学生3,000円

●申込　ハガキに親子の氏名、性別、年齢、学年、郵便番号、住所、電話番号を記入し、７月22日(火)までに事務局へ。
※申込は1家族につき1通までです。
※申込多数の場合は抽選となります。

●申込・問い合せ
ふるさと探訪ツアー事務局
〒080－8670
帯広市西５条南７丁目１
十勝圏複合事務組合振興課内
☎24－4111（内線3031）

税

7月31日(木)
固定資産税
第1期納期限です

納税には口座振替をご利用下さい

夢民（むーみん）かわら版

ドライヤーの熱を利用した科学の工作！

おもしろ熱気球コース

8／11(月)　午後１時30分～
午後４時30分【創作実習室】
★材料費　500円
★持ち物　定規、はさみ、シャープペンシル
★指　導　アンダーソン・ブライアン(国際交流員)

アザラシのタマちゃんとチワワのクーちゃん！

ビーズのストラップコース

8／11(月)・8／12(火)
午前９時30分～正午【視聴覚室】
★材料費　１日目／500円、２日目／800円
★持ち物　特になし
★指　導　横山　真弓（中札内村）

夏休み夢ん子工作教室

いろいろな材料と道具を使って
作品づくりに挑戦しよう！

光と色のグラデーションを楽しもう！

和風ランプシェードコース

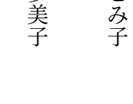
8／12(火)　午後１時30分～
午後４時30分【創作実習室】
★材料費　800円
★持ち物　鉛筆・定規・はさみ・カッター
★指　導　道券　龍二（教委事務局職員）

おがくずの絵と木のフレームづくり！

おがくずクラフトコース

8／12(火)
午前９時30分～正午【創作実習室】
★材料費　300円
★持ち物　鉛筆、消しゴム、木工用ボンド
★指　導　桜谷　博基（教委事務局職員）

2003年夏の思い出づくり…
会場／農村環境改善センター



募集対象・定員

★小学校全学年
（１・２年生は保護者が同伴して下さい）
★各コース10名

申・込・方・法

★希望のコースを選んで、８月１日(金)までに教育委員会事務局へ申込み下さい。
★材料費は、事前に教育委員会事務局へ納入願います。

申込・問い合せ

教育委員会事務局 生涯学習推進担当
☎52－3171　FAX52－3173

南十勝夢街道開放講座

南十勝5町村の住民の方、どなたでも受講できます。
ただし、一般成人が対象です。

日高山脈コイカクシュサツナイ沢歩き会

（中札内村開放講座）
◇**日　時**　7月20日(日)
午前9時～午後3時【雨天中止】
◇**集　合**　日高山脈山岳センター
午前8時45分までに集合
◇**参加料**　110円（保険料）
◇**定　員**　25名
◇**持ち物**　昼食、雨具
◇**締　切**　7月16日(水)
◇**申　込**　日高山脈山岳センター（☎69－4378）
主　催／南十勝教育振興会

村の文芸

白樺吟社

庭園の茶室にとどく蝉（せみ）の声　伊藤　博子
柳絮（りゅうじょ）降る護国神社の大鳥居　太田みよ子
牡丹の花芯を抱き夕暮るる　梶浦るみ子
主の無き庭の牡丹の咲き誇る　河瀬寿八子
さくらんぼたずさえて娘が見舞くれ　河瀬　みよ
散歩道白き咲きをり二輪草　木山とみ子
満潮の波打ちぎわの浜豌豆（えんどう）　九々多美子
草に飽く眠りの馬の夏野かな　白川　恵子
牛追を終えて吹き出す汗を拭く　白岩　幸女
すり傷の絶え間のなき子夏帽子　瀧上　朋子
青鷺（さぎ）の一羽湖面を低く飛び　高久　幸子
野も山も喜雨に歓喜の声立つる　小森行々子

配食サービス事業

●内　　容
食事及び調理が困難な高齢者等に、定期的に居宅を訪問して栄養のある食事の提供を行い、健全で安らかな生活を援助します。

●対　象　者
①更別村に在住するおおむね65歳以上の単身世帯及び高齢者のみの世帯に属する高齢者であって、老衰または疾病等の理由により、食事・調理が困難な方
②更別村に在住する身体障害者手帳、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳の所持者であって、心身の障害または疾病等の理由により、食事・調理が困難な方
③前項に掲げるもののほか、村長が必要と認める方

●実 施 回 数
毎週火曜日の夕食(午後3時30分以降)。
住民や高校生等のボランティアが届けます。

●自己負担金
１食300円。副食物だけの場合には１食260円。

●事業の実施
村から社会福祉法人更別村社会福祉協議会への委託事業として実施します。

●申　　込
サービスを希望する方は、役場保健福祉課へ申請書を提出して下さい。
申請書を審査後、村から申請者へ決定の可否の通知書を送付します。
決定者には、更別村社会福祉協議会から実施日の案内等をします。

申込・問い合せ
役場保健福祉課（福祉の里総合センター内）　☎53－3000
更別村社会福祉協議会（老人保健福祉センター内）　☎53－3500
☆関連する福祉サービス等の情報『更別村ホームページ　http://www.sarabetsu.jp/』もご覧下さい。

福祉サービス利用のお知らせ〈その3〉

Sports Result

5/26～7/2 村内朝野球大会
▶**優勝**　役場Ａ
▶**２位**　ＴＢＣ
▶**３位**　農　協

6/22 行政区対抗ソフトボール大会
▶**優勝**　香川区
▶**２位**　北更別区
▶**３位**　東栄区

6/9～23 行政区対抗ソフトボール選手権
▶**優勝**　北更別区
▶**２位**　旭　　区
▶**３位**　花園町・更別区

6/15 どんぐり卓球大会
一般Ｈクラス
▶**優勝**　河村　俊二
▶**２位**　川口　晶寛
▶**３位**　森　　洋明
一般Ａクラス
▶**優勝**　山田由美子
▶**２位**　我妻　政子
▶**３位**　漆川　栄子
一般Ｂクラス
▶**優勝**　北藤　和子
▶**２位**　宮町亜香里
▶**３位**　国田　真登
中学生の部
▶**優勝**　井脇　理恵
▶**２位**　中井　大地
▶**３位**　我妻佑梨江

6/15 村内ソフトテニス大会
▶**優勝**　森田　昭雄・小林エリカ
▶**２位**　七海　　光・山角由希子
▶**３位**　藤原　正俊・村上　恵子

6/15 行政区対抗パークゴルフ大会
Ａブロック
▶**優勝**　錦町Ａ
▶**２位**　柏町Ａ
▶**３位**　本町Ａ
Ｂブロック
▶**優勝**　上更別南区Ａ
▶**２位**　緑町Ａ
▶**３位**　錦町Ｃ

お買い物はわが街で

小売価格調査結果表

5月分（単位はすべて円）

品名／比較	食料品							雑貨		燃料
	きゃべつ	まぐろ(赤身)	塩さけ(切身)	ハム	サラダ油	食パン(スライス)	豆腐	洗濯用合成洗剤	半そで肌着	灯油
	100g	100g	100g	100g	1,500g程度	1袋	400g程度	1.2kg	大人用1枚	18ℓ
更別村	28.9	339.7	168.0	248.9	417.9	130.2	102.9	554.4	787.5	907.2
管内平均	35.8	299.2	135.9	248.0	481.0	155.0	111.0	460.0	736.0	888.0
全道平均	31.5	317.0	128.5	242.0	438.0	160.0	112.0	460.0	743.0	898.0

＊価格はすべて消費税込みの価格です。更別村分については、消費生活モニター２名の調査による村内店舗の平均価格です。
＊調査品目は全55品目です。内、10品目をランダムに抽出し掲載しています。詳しくは企画振興課商工担当までお問い合せ下さい。

心配ごとはこちらです

■場　所
地域型在宅介護支援センター相談室
（老人保健福祉センター内）

■日　時
月～金曜日　午前８時45分
～午後５時15分

■相談担当者
地域型在宅介護支援センター職員

戸籍の窓口

誕生おめでとう

越　谷　　航（わたる）ちゃん
武　司・奈津美（曙　　町）
日　光　菜緒（なお）ちゃん
裕　信・孝　恵（昭和区）
清　水　康希（こうき）ちゃん
祐　一・裕　香（曙　　町）
白　岩　友奈（ゆうな）ちゃん
桂　二・聖　子（南更別区）

おくやみ申し上げます

田　井　みえ子さん　44歳（緑　　町）
高　橋　石太郎さん　76歳（勢雄区）
瀬田川　キミエさん　92歳（更南区）

人のうごき

人　口	3,458	（＋10）
男	1,696	（＋ 4）
女	1,762	（＋ 6）
世帯数	1,157	（＋ 2）

※6月30日現在、（ ）内は前月比

譲ります

・スケート（27cm）
・スキー１式
・洗濯機（二槽式）

譲って下さい

・ファクシミリ
・掃除機
・パソコンデスク

ご連絡下さい
役場企画振興課
広報担当（内線232）

Brian DID YOU KNOW...?

私は焼肉が大好きなのですが、初めて日本で焼肉を食べに時は、それについての習慣を知らなかったので驚きました。初めての焼肉パーティーでのことです。美味しそうな肉をグリルにのせました。すると、ジューッというすばらしい音がしました。よだれが出そうになるのを我慢しながら、肉を見つめて楽しみにしていました。しかし、次の瞬間、誰かがその肉を引っくり返してくれました。「気をつけないと焦げちゃうぞ」と親切に言ってくれたのですが、食べる気がなくなってしまいました。なぜかというと、その人は自分の箸を使っていたからです。日本人にとっては別に驚くことではありませんが、欧米の人にとっては「汚い」とか「マナーが悪い」というイメージがあります。調べてみると、多くの欧米の国々では、テーブルに共有の器が置いてある場合があります。しかし、取り箸のようなフォークやスプーンも置いてあります。たとえば、自分が使っているフォークや箸を使って、日本で鍋をつつくように中の物を取り出すようなことはしません。パーティーやバーベキューでは肉を焼く担当の人が専用のフォークを使って、肉をひっくり返したりします。そのようなわけで、私は、焼肉を各自の箸でひっくり返している姿を見て大変驚きました。本人は当然のことをしたと思っていたのだと思いますが、残念なことに、私の文化背景が異なるために、その時はその「親切」がわかりませんでした。同じ動作なのに、他の文化では、異なる意味でとられることがあります。海外に行く際、その国の習慣にはあまりびっくりしないでください。「郷に入っては郷に従え」というわけです。

BRIAN

今月の表紙

天気に恵まれた6月25日、更別運動広場で第26回高齢者運動会が開催されました。

今年は222名の皆さんが参加。各老人クラブなどの代表者による聖火リレー後、早速競技スタート。

新種目の「びん釣り」は、釣り針がびんに取り付けたフックに引っ掛からず手こずる方も。「ゲート通し（ゲートボール）」はお手のもの。最後の「大玉転がし」では、ゴールぎりぎりまで勝負がもつれる大接戦！

最後に勝敗はつきましたが、それぞれに心地良い汗を流し、楽しい一日を過ごされた事と思います。

人事異動

7月1日付で人事異動がありましたのでお知らせします。
※（ ）内は旧部署

■村辞令
▽総務課主幹（保健福祉課主幹）　三好　光幸
▽企画振興課（総務課）　前田　貴広
▽農林課（住民課）　大塚　貴史
▽住民課（農林課）　川上　祐明
▽保健福祉課（農業委員会）　高瀬　大輔

■農業委員会辞令
▽（企画振興課）　石川　亮

こうほう さらべつ 7
■発行　平成15年7月10日（NO.490）
更別村役場企画振興課　〒089-1595　北海道河西郡更別村字更別南1線93番地
☎(0155)52－2111　FAX(0155)52－2812　http://www.sarabetsu.jp/
e-mail【代表】village-office@sarabetsu.jp　【村長】toyoji-yasumura@sarabetsu.jp